

No.215

2019年
3月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

展示のご案内

展示期間 3月28日(木)まで

★メイン展示

「心はずむ春が来た」

春になると、なんだかうきうきしますね。そこで今回の展示は「心はずむ春が来た」と題して、

- ・桜の花と新しい旅立ち
- ・快眠のすすめ
- ・春のお出かけへ

という3つのコーナーを設けました。



●メイン展示図書(抜粋)

- 「さくらもちのさくらこさん」・「四国八十八か所」
- 「スタンフォード式最高の睡眠」・「図書館散歩」
- 「関西中国四国北陸のおいしい道の駅&SA・PA」

忘れ物について

忘れ物・落とし物を多数お預かりしています。心当たりのある人は取りに来てください。

多くの忘れ物を長期保管することは困難ですので、**3月末まで**に取りに来られない場合は、一部の物の(図書利用カード等)を除き、処分させていただきますので、ご了承ください。

雑誌・図書を差し上げます

保存年限を過ぎた雑誌や除籍した図書等を差し上げます。3月24日までは冊数制限を設けておりますので、その範囲内でお持ち帰りください。

期間 3月12日(火)～
(休館日は除く)

図書館開館中

冊数 雑誌…1人3冊まで

図書…1人30冊まで

英字新聞…1人1束まで

児童書も
あります



3月12日(月)まで休館です

先月号でもお知らせしましたが、年に1度の特別整理等のため、**3月4日から11日まで**休館させていただきます。ご了承ください。

3月12日(火)午前10時に開館いたします。

★サブ展示

「防災」

3月11日は東日本大震災のあった日。今回のサブ展示は、防災に関する本を集めました。一般向けの本から児童向けの本まで、幅広く展示しています。万が一の災害に備えて参考にしてください。



ぜひお越しください。

読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

駒音高く

佐川光晴 著
実業之日本社

「大阪のわたし」では、将棋会館の清掃をしている奥山チカが主人公。仕事をしている時に会った小学生の男の子と一度だけ話したことがあった。出会った時の男の子は泣きはらした顔だった。それ以来、男の子の姿を見なくなったが、大阪の将棋道場で再会する。将棋を通して出会った二人。将棋を好きな気持ちがまっすぐ届く感動作ばかりです。

多くの棋士が実名で出てくるのでぜひ読んでみてください。

(岡村)

(児童)

ソフィー、がっこうへいく

バッド・ジトロウ・ミラー 文
アン・ウィルスドルフ 絵
光村教育図書

一年生になったソフィー。初めてづくしの学校の第一印象は、「なんてやかましいところ!!」。友達なんてべつにいらぬ、という始末。そんなかたくななソフィーに声を掛けてくる一人の男の子が現れ…。果たしてソフィーに友達はできるのでしょうか。

入園・入学、初めての生活に不安を覚える子どもたちへ親子で読んでみてはどうでしょうか？

(樫田)

(児童)

スズメのくらし

平野伸明 著
福音館書店

私たちに一番身近な鳥、スズメ。空を見上げれば、いつでも見えると思っていましたが、実は数が減っています。そんなスズメのくらしについて、私たちはどれぐらい知っているでしょう。

- ・何を食べて、どこに巣を作る？
- ・年に何回、子育てする？

など、スズメの生態を豊富な写真で紹介。生き残るための工夫やスズメしかしないことなど、感心することがたくさんの一冊です。

(山口)

(一般)

ディック・ブルーナのすべて

講談社

世界中で愛されている、ディック・ブルーナの絵本、誰でも一度は目にしたり、読んだりした事があるのではないのでしょうか。

ブルーナの世界がどうやって生まれ、育まれてきたのか、シンプルだからこそこのこだわりなどブルーナの素顔や活動、生まれた国オランダの事などがたくさん書かれた一冊になっています。

かわいいブルーナの世界にひたってみませんか？

(尾崎)

「カメラ講習～プラチナプリントと和紙～」 山下量子

先日、宿毛観光協会が開催したカメラの講習会に参加してきた。

動画による表現というものの可能性を知ってからは、自分でもきちんとカメラをいじれるようになりたい、そう思っていた私には、またとない機会だった。

最近では、ぼかしがある動画を作るために、ビデオカメラではなく、一眼カメラで動画を撮る人は少なくない。充電の持ちが悪いこと、重いこと、レンズ等が高いこと、音声収録の質があまり良くないこと、そういった短所もあるが、一眼カメラは、表現の幅が広がり、味のあふ撮影が出来る、そんなふうで、宿毛映画塾以降、私は思うようになっていた。カメラは素人の私だが、参加してみることにしたのだ。

その講習会は、最初は机上での講義。そしてその後、実際に中筋川ダムの写真を撮るという実技も含めたものだった。

その講師を勤めたのは、写真家の吉岡さとる氏だった。吉岡氏は、高知市出身の写真家で、その腕前は、「卓越した能力を持つ外国人」として、アメリカ合衆国永住権を獲得するほどのもので、「何故、我々は存在するのか？」をテーマに世界各地の、物理学を中心とした研究所の施設内部を撮影、写真作品として発表している。

カメラのことを学びに来たのに、吉岡氏にお会いしてからは、その話が面白すぎて、カメラのことはどうでもよくなるほどであった。

特にスイスのジュネーブにあるセルン(欧州原子核研究機構)。この施設の事は、ダン・ブラウンの本「天使と悪魔」やニュースなどで知ってはいたが、まさかその内部に入り、さらに撮影したこともある日本人に会えるなんて、思いもしなかった。吉岡氏の話聞きながら、地下にある全周 27キロメートルという巨大な円形加速器に想いを寄せた。

そして、吉岡氏の話の中で、私が何よりも驚いたことがあった。

それは、「プラチナプリント」というものについてだった。

プラチナプリントとは、世界最高峰の写真現像技術で、科学的に安定性の高い金属であるプラチナを使用するそうで、そのプリントは500年以上、美しい状態で保たれると実証されているのだという。

つまり5世紀ももつのだ。

もし今、自分が家族写真を撮ったら、例えば私が50年後に死んだ後も、私の孫の孫が死んだ後も、その孫が死んだ後も記録が残るといふことだ。元号も何度変わるかわからない。

そもそも普段、自分が使っているCDやDVD、ハードディスク等へ書き込むデジタルデータは、物理的な要素でいつデータが飛ぶかもしれないし、せいぜい保存期間は数十年から百年くらいだろう。だからこれらが優秀な保存媒体とは思ってはいないし、信頼できる記録保存媒体なんてそうそうないだろう、そう思っていた私には、初めて聞くプラチナプリントの話は衝撃的だった。さらに衝撃は続いた。

そのプラチナプリントのために開発された紙があるのだと。

それは、なんと土佐和紙で、プラチナプリントのために、「土佐白金紙」というものが2年かけて試作とテストをくりかえし、長期保存に耐えられる紙として開発されたというのだ。現在、商品として世界に出ていて、美術館などでも使用されているという。

・・・最先端の物理学研究所の写真が、土佐和紙という伝統的な紙にプラチナプリントされている…。その最先端と伝統との融合に私は感動したのである。

なんとドラマチックな…。

私が運営しているゲストハウスに来る外国人のお客さんはよく「WAX」の話をする。愛媛県内子町のWAX(蠟)のことだ。高知県にはそれに値する伝統品は無いのか、そう悲しく思ったものだ。けれども、そうか、高知県も負けてはいない。こんなすごい和紙が存在するのだから。

もともと土佐は、約1000年前の平安時代から、仁淀川など清流に恵まれた土地柄もあり、原料である楮(こうぞ)、三桠(みつまた)などの生産が発展してきた。その原料から作られる土佐和紙は、その品質の高さから海外でも文化財の修復用紙や、高級腕時計の文字盤に使用されるなどしているという。特に薄くて丈夫な「土佐典具帖紙」は別名「カゲロウの羽」とも呼ばれ、世界一薄い和紙なのだとか。

吉岡氏が撮ったという土佐白金紙製造の工程の動画を見せてもらった。原料の煮出しの様子。手作業でつぶし、手作業で紙をすく職人の技。

最先端のこの和紙は、匠の技を後世へとつなげていくのに十分な動機となるだろう。そしてその職人技は美しく、金では買えない努力と技術と時間と、人と人との伝承の結晶だった。

美しい……

私は、高知県にこんなに誇れるものがあることに、ただただ感動した。

そんな驚きのカメラ講習だった。

～新着図書のご紹介～

一般図書



- | | | |
|---|----------------------------|--------|
| 0 | 「スポーツするえほん」 | 中川素子 |
| 1 | 「脳に振り回されない生活」 | 小池龍之介 |
| 2 | 「皇室女子」 | 香山リカ |
| 3 | 「事務ミスがない人の図解整理術」 | オダギリ展子 |
| 4 | 「最高の入浴法」 | 早坂信哉 |
| 5 | 「『脱使い捨てでいこう!』」 | 瀬口亮子 |
| 6 | 「アパレル・サバイバル」 | 齊藤孝浩 |
| 7 | 「ペットボトルと空き容器で作るレトロ家電とミニ雑貨」 | 宮市稔子 |
| 8 | 「白川静さんに学ぶこれが日本語」 | 小山鉄郎 |
| 9 | 「宝島」 | 真藤順丈 |
| 9 | 「新章神様のカルテ」 | 夏川草介 |
| 9 | 「ニムロッド」 | 上田岳弘 |
| 9 | 「1R1分34秒」 | 町屋良平 |
| 9 | 「永田町小町バトル」 | 西條奈加 |
| 9 | 「不死鳥少年」 | 石田衣良 |
| 9 | 「うちのレンピ」 | 瀧羽麻子 |
| 9 | 「木曜日の子ども」 | 重松清 |
| 9 | 「家康に訊け」 | 加藤廣 |
| 9 | 「アリスのさくらんぼ」 | やなせたかし |
| 9 | 「皇太子妃のお務め奮闘記」 | 江本マシメサ |
| 9 | 「救いの森」 | 小林由香 |
| 9 | 「エスケープ・トレイン」 | 熊谷達也 |
| 9 | 「父と私の桜尾通り商店街」 | 今村夏子 |
| 9 | 「Go Go!介護」 | 津田かおり |

※左側の数字は図書の分類を表しています。
0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- | | |
|----------------------------------|------------|
| 「ちびしろくまのねがいごと」 | 小林深雪 |
| 「へんなともだちマンホークン」 | 村上しいこ |
| 「スズメのくらし」 | 平野伸明 |
| 「きみを変える50の名言 -谷川俊太郎、フジコ・ヘミングほか-」 | 佐久間博文 |
| 「こわ〜い!?わる〜い!?おばけ虫」 | むらいかよ |
| 「キリンの山のぼり」 | 茂市久美子 |
| 「失敗図鑑 -すごい人ほどダメだった!-」 | 大野正人 |
| 「ドラえもん社会ワールド経済がよくわかる」 | 藤子・F・不二雄 |
| 「ぼくにだけ見えるジェシカ」 | アンドリュー・ノリス |
| 「クマゲラ」 | 竹田津実 |

絵本



- | | |
|----------------------------------|-------------|
| 「おしえておしえてねむりかた」 | アナ・カン |
| 「0さいからのドラえもんはじめてずかん たべもの-えいごつき-」 | 藤子・F・不二雄 |
| 「でんしゃからバイバイ」 | いしづちひろ |
| 「おいせまいりわんころう」 | あおきひろえ |
| 「さくらもちのさくらこさん」 | 岡田よしたか |
| 「あかちゃんごおしゃべりえほん」 | かしわらあきお |
| 「うさぎくんとママ」 | リチャード・スキヤリー |
| 「ぼくはなにいろのネコ?」 | ロジャー・デュボアザン |
| 「英語でもよめるじぶんだけのいろ」 | レオ=レオニ |

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 は休館日
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp